

援助力養成プログラム 活動実績に応じたマイスター制度

通算活動回数100回以上の学生が学長から表彰されます。
今までに48名が受賞しています。(令和5年3月31日現在)



君の笑顔が子どもたちの未来を変える

援助力養成プログラムは、県大が誇るわが国唯一の教育プログラムです。子どもへの関わり方の基礎を授業で学び、その後、不登校・ひきこもりサポートセンターなどで実際に子どもの支援活動に参加します。それにより、子どもたちの未来を変えるとともに、学生自身も高い援助力や対人スキルを持った専門職者へと成長することができます。

子どもとともに
まったく変わった
私の将来

- ① 県大子どもサポーターの約8割が対人援助職として活躍！
- ② 近年、養護教諭サブコースの教員就職率は100%を維持！
- ③ 公務員(法務教官、児童福祉司、保健師など)としても活躍！
- ④ スクール(学校)ソーシャルワーカーや臨床心理士としても活躍！

ボランティアラダーによる学年や経験に応じた活動内容のステップアップ

1年次

2年次

3年次

4年次

将来の私

不登校・ひきこもり援助論

不登校の子どもの援助方法とともに、課題を抱えた子ども(非行・虐待・障害など)への関わり方、子どもについてなどを学びます。受講後に「県大子どもサポーター」に登録し、様々な子ども支援活動に参加します。



授業の様子

子供学習支援論

この授業では、全国的な課題となっている子どもの学力低下の要因を様々な観点から考え、具体的な学習支援の方法について学びます。同時に、子どもの命を救うための一次救命処置も身につけます。



授業の様子

サポーター活動 Activity of Support

県大子どもサポーターは、不登校やひきこもりなどの問題を抱える子どもたちを多様な場で支援する専門ボランティアです。

サポーター登録後はまず、初期の活動としてイベント(泥んこドッジボールやキャンプなど)に参加したり、地域の学校や教育委員会などからの要請で学校等において継続的に子どもを支援する活動などに参加します。

これらの活動から、子どもを支援する際の基本的な関わり方や**集団での役割を遂行する力、継続的な支援を行うためのマネジメント能力**を身につけます。



オンラインボランティア(学校)



イベント時の様子



学生企画キャンプ



サポーター表彰式

キャンパス スクール Campus School



休み時間の様子



スクールでの活動の様子

キャンパススクールは、全国で唯一の大学内フリースクールです。子どもたちへの学習支援や心理的サポートとともに、社会性の伸長を図ることを目的としています。

スクールの時間割は、大学の時間割をリンクさせているので、サポーターはちょっとした空き時間を使ってスクールに来ることができます。

身近なお兄さん、お姉さんとしての存在を活用して、子どもたちの**集団適応能力を高めるための援助方法**を身につけます。



子どもたちと話している様子



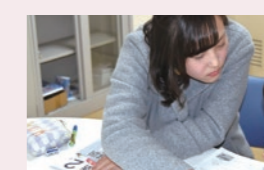
カルタを一緒に楽しんでいる様子

キャンパスキッズ Campus Kids

キャンパスキッズとは、不登校の子どもたちがセンターに来て、サポーターと一緒に活動するプログラムです。

自信をなくしていることが多い不登校の子どもにとって、特定の人が自分を待っていてくれるということは、次の一歩を踏み出すための大きな力となります。

このようなサポーター活動を通して信頼関係を形成し、**一人ひとりの子どもに寄り添う個別援助力**を身につけます。



個別支援



キッズ会の様子



一緒に作物を収穫している様子

養護教諭
看護師・保健師



官公庁職員
学校教職員



スクール(学校)
ソーシャルワーカー
児童福祉司・児童指導員



保育士・幼稚園教諭
認定心理士



看護学科 The voice of supporters ①



多田 奏さん
看護学部 看護学科 4年
(福岡県出身)

私は入学前からこのボランティア活動に興味を持っていました。フリースクールや学校派遣のボランティア活動を通して不登校児童生徒の支援を行ってきました。フリースクールでの活動は様々な子どもと関わることができます。子ども達の変化や成長を間近で見ることができ、楽しく、やりがいを感じます。学校派遣での活動は、実際、学校では不登校の子どもの支援をどうやって行っているかを学ぶことができます。私はこの活動を通して子ども達から多くのことを学ぶことができ、それによって自分の将来像を描くことができました。

公共社会学科 The voice of supporters ②



吉富 瑠乃さん
人間社会学部 公共社会学科 2年
(福岡県出身)

私は元々不登校支援や学習支援は自分と縁のないものだと思っていました。しかし大学入学後にサポセンの存在・活動を知り、興味を持ち、参加するようになりました。私は現在、空きコマの時間に勉強を教えたり、一緒に遊んだりする学内の活動と、キャンプなどの野外活動をしています。サポセンに来る子ども達は静かな子、元気な子など様々です。今後も活動していく中で自分も楽しみつつ、様々な子ども達がこの場で過ごす時間をプラスに感じられたらと思っています。

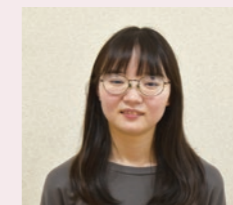
社会福祉学科 The voice of supporters ③



大木 蓮太さん
人間社会学部 社会福祉学科 3年
(鳥取県出身)

私は1年生で受講した不登校・ひきこもり援助論に興味を持ちサポーターになり、週に1回の頻度でフリースクールや個別活動に参加しています。子ども達は明るくて真面目で、勉強や体育、イベントに対して一生懸命に取り組んでいます。そんな元気をくれる子ども達の成長を感じることで私も成長させてもらえました。気軽に立ち寄り、子ども達と時間を共有できるのがサポセンです。一緒にサポセンで活動してくれるサポーターが増えると嬉しいです。

人間形成学科 The voice of supporters ④



青木 海音さん
人間社会学部 人間形成学科 4年
(宮崎県出身)

私が本格的に活動を始めたのは3年生になってからです。子ども達の力になれることがあるのか、どうやって接すればいいのか、最初はとても不安でした。ですが、フリースクールでの活動や小学校での学習支援、単発でのボランティア等で子ども達と関わり、そんな不安もなくなりました。子どもならではの発想に、私自身よく驚かされ、「確かに」と考えさせられることも多いです。今では、子ども達に会って楽しい時間を過ごすことが、私の元気の源になっています。